

新たに「皮膚科の臨床」の編集委員に加えて頂いてから、早くも2年程が経過しました。最初は査読の仕方も手探り状態でしたが、先輩の編集委員の先生方の校正を見よう見まねで習っていくうち、少しずつ要領が掴めてきた気がいたします。これから本誌に投稿される若い先生には、是非、投稿規定を今一度熟読して頂きたいと思います。以下に形式的なことについていくつか気付いた点を記します。

図・表は「症例」では7枚以内、「Mini Report」では3枚以内となっていますが、写真1点は図1枚として数え、写真2点を1図とする場合でも1枚としては数えません(2枚として数えます)。時々、図・表の枚数が超過していて、規定枚数まで削って頂くことがありますので、注意してください。「症例」では300字以内の要約を付けて頂きますが、要約は症例の要約ではなく、論文全体の要約ですので、考察も含めて300字以内でまとめてください。当該論文で主張したい点を簡潔に加えてください。文献も投稿規定に従ってください。英文誌も和文誌も雑誌には略し方が決まっています。決められた略し方に従って記載してください。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は依然として予断を許さない状況が続いており、第3波の到来と言われています。今後も日常生活で3密を避ける工夫が必要でしょう。今年の夏休みは皆様如何お過ごしだったのでしょうか? 多くの方は遠出を避ける生活を送っていたのではないかと思います。かく言う私も遠出はせず、ぼぼ自宅にいましたが、家内が昨年末に申し込んでいたJA世田谷目黒(世田谷目黒農業協同組合)が開催する玉堤体験農園に参加することが出来ました。当初4月に予定されていた開園式は、COVID-19の影響で5月に延期されました。説明会も3密を避けて何回かに分けて行われ、総勢25組の家族が参加しました。夏野菜として、枝豆、とうもろこし、トマト、きゅうり、ナス、ピーマンの6種類が植えられました。なかでも、きゅうりとなすの生長の速さには驚かされました。ほんの数日で2倍位の大きさになることもあります。この2種類の野菜はたくさん収穫できたので、家族が近隣や親戚、学校の友達に持っていきましたが、それでも捌ききれず、最後は私も職場に持参しました。医局員は不思議に思ったかもしれません。

(佐伯秀久)

— 問 題 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第62巻 第13号 12月増大号 2020年12月1日発行(毎月1回1日発行) 定 価 (本体 4,400 円+税) 年間購読料金 定価 (本体 42,100 円+税) [年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村 直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03(3811) 7165 [編集室直通] TEL 03(3811) 7184 [営業部直通] FAX 03(3813) 0288 ホームページ http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005 広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。